



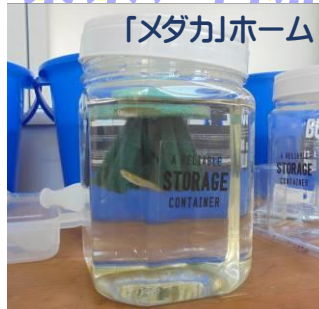
# 校長室だより

令和6年度

6月13日

NO.16

## 初夏の秦梨、ふるさと秦梨、自然を学ぶ秦梨



一、二年生は、「ザリガニさん」のお家を自分で作って、自分で捕ったザリガニを迎え入れました。ザリガニが住みやすいように考えてあげましたが、はさみをいっぱい広げ威嚇するザリガニに悪戦苦闘しつつ、引越しを完了させました。「これ校長先生」名前まで付けてもらいました。愛情をたっぷりかけたザリガニ、元気でいてほしいと思います。

一方、五年生は今、理科で「メダカさん」の観察をしています。こちらはスイートホームにオスとメスが入って、卵を産める環境が整いました。小菅先生も、か弱いメダカが死なないように気を配り、日夜、子供と共に気をもみながら飼育しています。飼育は、「命の大切さ」を学ぶ場でもあります。

三年生の教室の「蚕さん」は、大きくなりました。目に見えないほど小さな卵だった蚕は、今や大食い大会に出ているかのように、人目もはばからず、桑の葉を食べ続けています。静かな教室に、桑をかみちぎる音が聞こえるほどです。

畑では、「こんにやく芋」が育ってきました。秋の収穫を楽しみに、暑い中、三年生が草取りをしてくれました。枯れてしまったミイラのようなこんにやくの花には、実がなるところなど見られ、花の作りが分かります。これも貴重な勉強です。

六年生による学校プロジェクト、今月は「自然を大切にしよう」、第一弾の「ホタルについてくわしくなろう」では、全校みんなでホタルのことを調べて、まとめました。また、十二日の集会では、学習環境委員による「アジサイ読書」の説明がありました。今年の学校ホタルは一匹だけ、残念でした。梅雨ももうすぐ、秦梨小のアジサイもすでに盛大に咲き誇っています。秦梨では学習や生活の中に自然が生きています。暦の上では間もなく「夏至」いよいよ、夏本番です。

- ・10日、これからの授業での健康と安全を願って「プール開き」を行いました。
- ・12日の集会で、学習環境委員さんが読み聞かせをしてくれました。次の本です。  
「りんごかもしれない」(ヨシタケシカ: ブロズ 新書)、「ふしぎなキャディーやさん」(みやにしたつや: 金の星社)